



# 汐見の和

横浜市立汐見台小学校  
令和3年11月25日  
学校だより 12月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子  
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409  
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



## 慮る力～人権週間に寄せて～

校長 犬塚 真

朝の寒さが増し、登校してくる子どもたちの服装からも冬の訪れを感じます。先日は学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。皆様のご意見をふまえ、今後もよりよい学校づくりに努めてまいります。今年度は運動会が実施できなくて残念だったというご意見も複数頂きました。記載の件数が突出して多かった訳ではありませんが、多くの方がそのように思われていることと推察しています。学校としても様々な状況の中、苦しい判断でしたが、せめてもの思いで学年ごとのスポーツフェスティバルを計画しました。皆様には、参観にあたって様々なお願いごとをし、ご不便をおかけいたしました。ご理解とご協力を頂き、混乱なく実施することができています。心より感謝申し上げます。また、子どもたちもこの小さな運動会を楽しんでいる様子が見受けられ、少しほっとしています。

さて、12月4日からの一週間は「人権週間」です。人権というと、どこことなく「難しいこと」という印象を抱く方もあるかもしれませんが、まずは人権を「身近なこと」としてとらえていきたいものです。本校ではこの人権週間に機に、子どもたちが身の回りの出来事や自分の言動を見つめ直しながら、人権を大切にするための具体的な目標をたてる取組を計画しています。

過日、教員を目指している大学生と人権教育やいじめの問題について話をする機会がありました。その中で、いじめが起る要因や背景について意見交換をしたことが印象に残っています。

「自分も子どものころ、友達に嫌がらせをしていたことがあったが、そのときは罪の意識を感じていなかった。」  
「こちらに悪意はなくても、相手は傷ついていたのだと思う。」  
「自分との違いにばかり目が向いてしまい、いやな感じをもったり、無視したりしていた。」  
「かかわりが増えれば増えるほど、トラブルも多くなる。」  
「だからこそ様々な相手の気持ちを想像することが大切なのだと思う。」  
など、自分の体験と重ね合わせた素直な意見が交わされました。そして、多くの学生が、相手の立場に立つことや他者理解を深めていくことでいじめを減らすことができると考えていました。もちろん、この問題はそれだけで解決に至るものではありませんが、小学生では相手に対する思いの至らなさがいじめの要因になっていることが確かに多くあります。

「慮る（おもんばかる）」とは、周囲の状況などをよく考慮する、あれこれと思いを巡らすといったことを指す言葉で、相手の状態や感情などを想像し、配慮するといった意味合いでよく用いられます。この「慮る」力を育てることは、社会の中で人がよりよく生きる上でも大切なことだと考えています。

### 【人権週間】

1948年（昭和23年）12月10日、国際連合の第3回総会において、基本的人権尊重の原則を定めた「世界人権宣言」が採択されました。また、採択日である12月10日を「人権デー」としています。毎年この人権デーを最終日とする12月4日から10日までの1週間を「人権週間」とし、人権尊重思想の普及や高揚を呼びかける啓発活動が展開されています。今年（2021年）は第73回の人権週間となります。

